

わたしについて来なさい

シリーズ～新イエス～

2025/2/16

# イエスの公生涯の準備

- 30年間大工としてマリアらとともに過ごす
  - 「イエスが宣教を始められたときはおよそ三十歳であった。」ルカ3:23
- 洗礼者ヨハネからバプテスマを受ける
  - 「イエスも洗礼を受けて祈っておられると、天が開け、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。」ルカ3:21-2
- 荒れ野で誘惑を受ける
  - 「さて、イエスは聖霊に満ちて、ヨルダン川からお帰りになった。そして、荒れ野の中を“霊”によって引き回され、四十日間、悪魔から誘惑を受けられた。」4:1-2

# 公生涯の始まり

## •ガリラヤ地方で教え始める

- 「イエスは“霊”の力に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。イエスは諸会堂で教え、皆から尊敬を受けられた。」

4:14-15

## •弟子を集め始める(アンデレ)

- 「その翌日、また、ヨハネは二人の弟子と一緒にいた。そして、歩いておられるイエスを見つめて、『見よ、神の小羊だ』と言った。二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従った。…イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。」ヨハネ1:35-40

# シモン(ペトロ)の召命

## •舟から教えるイエス

- 「そこでイエスは、そのうちのーそうであるシモンの持ち舟に乗り、岸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして、腰を下ろして舟から群衆に教え始められた。」ルカ5:3

## •網を降ろすように命じるイエス

- 「話し終わったとき、シモンに、『沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい』と言われた。シモンは、『先生、わたしたちは、夜通し苦勞しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう』と答えた。」5:4-5

# シモン(ペトロ)の召命

## •信じられないほどの大漁

- 「漁師たちがそのとおりにすると、おびただしい魚がかかり、網が破れそうになった。…二そうの舟を魚でいっぱいにしたので、舟は沈みそうになった。」5:6-7

## •シモン、イエスの前にひれ伏す

- 「これを見たシモン・ペトロは、イエスの足もとにひれ伏して、『主よ、わたしから離れてください。**わたしは罪深い者なのです**』と言った。」8

## •人間をとる漁師になる

- 「すると、イエスはシモンに言われた。『恐れることはない。今から後、**あなたは人間をとる漁師になる。**』そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。」10-11

# ヤコブ・ヨハネ・フィリポの召命

## • ヤコブとヨハネ

- 「また、少し進んで、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になると、**すぐに彼らをお呼びになった。**この二人も父ゼベダイを雇い人たちと一緒に舟に残して、イエスの後について行った。」マルコ1:19-20

## • フィリポ

- 「イエスは、ガリラヤへ行こうとしたときに、フィリポに出会って、『**わたしに従いなさい**』と言われた。

# ナタナエル(バルトロマイ)の召命

## • フィリポ、ナタナエルにイエスを伝える

- 「わたしたちは、モーセが律法に記し、預言者たちも書いている方に出会った。それはナザレの人で、ヨセフの子イエスだ。」ヨハネ1:45

## • ナタナエル、受け入れない

- 「するとナタナエルが、『ナザレから何か良いものが出るだろうか』と言った」46

## • イエス、ナタナエルを語る

- 「イエスは、…彼のことをこう言われた。『見なさい。まことのイスラエル人だ。この人には偽りが無い。』」47



# ナタナエル(バルトロマイ)の召命

## •なぜイエスがそう言ったのか

- 「ナタナエルが、『どうしてわたしを知っておられるのですか』と言うと、イエスは答えて、『わたしは、あなたがフィリポから話しかけられる前に、いちじくの木の下にいるのを見た』と言われた。」48

## •ナタナエル、イエスを信じる

- 「ラビ、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」49

## •なぜナタナエルはイエスを信じたのか？

- イエスはナタナエルの否定的な気持ちにかかわらず、彼の熱心な祈りの姿勢(いちじくの木の下にいる)を見て、高く評価した
- よく知らないのにイエスを拒否したナタナエルは、一見して自分のことを見抜き評価したイエスに驚嘆した



# マタイの召命

- 収税所に座っていたマタイに声をかける
  - 「イエスはそこをたち、通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、『**わたしに従いなさい**』と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った。」マタイ9:9
- 大宴会を催したマタイ
  - 「イエスがその家で食事をしておられたときのことである。徴税人や罪人も大勢やって来て、イエスや弟子たちと同席していた。」10
- 徴税人の一本釣り！
  - 「裏切者」として憎まれていた徴税人に直接声をかけて弟子にすることなどありえない

# 風変わりな弟子集め

- **まだ大した実績もないのに弟子を集めた**
  - 公生涯を始めて直ぐに弟子を集めている
- **師匠(イエス)の方から召している**
  - 普通は弟子の方から「弟子にしてください」と願い出るものである
- **弟子の資格を問うていない**
  - 漁師・徴税人・熱心党員(過激派)
- **すべてを捨てて従うよう命じている**
  - 中途半端な弟子入りはだめ:「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」

# わたしについて来なさい

- イエスは彼らの人生を丸ごとかかえている
  - 仕事も家族も捨てて従った人たちのその後の人生に全責任を負っている
  - 弟子の方から申し出たのであれば弟子の責任だが、師匠の方から勧誘したのであれば、師匠の責任である
- 今もイエスは「ついて来なさい」と命じている
  - 「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。」マタイ28:19
  - 「信者にきなさい」とは言われていない！
  - **イエスが全責任を負ってくださるということ**

イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。

マルコ福音書1章17～18節